

令和元年 台風15号災害支援活動報告

■活動に至った経緯

2019/9/12成田市から、翌日（9/13）の住民安否確認のための調査協力者2～3名の派遣依頼があった。成田市には5つの避難所が設けられ、市の保健師が緊急に対応しているが、まだ安否確認ができていない191件の訪問対象者が抽出されており協力が必要とのことであった。看護学部教員のうち支援に向かえる者を募り、成田キャンパスからは3名を派遣することとなった。9/13に引き続き、9/14の派遣依頼もあり、3名を派遣することとした。また、訪問に必要な物品借用の依頼もあり10セット準備をして9/12に成田市に届けている。

■活動内容

教員名	専門領域	活動日	活動時間	活動所属部署	活動内容
標 美奈子	公衆衛生看護学	9/13(金)	10:30～17:00	統括部所は 成田市福祉部	避難行動要支援者で安否確認が取れない高齢者・障害者宅を訪問。福祉部職員とペアになり、公用車で対象者を担当する民生委員宅に立ち寄り、訪問する旨を伝え、久住地区を中心に午前4名、午後3名の訪問を行った。訪問内容は、安否確認、健康状態確認、水・食料が必要な人には提供し、要望も聞いた。
茶園 美香	がん看護学・緩和ケア学	9/13(金)	10:30～17:00	成田市福祉部	成田市の職員とペアになって、家庭訪問をし、安否確認および健康状態の確認を行った。対象は、災害時要支援の高齢者・障害者の内、電話で連絡が取れない人であった。担当地域は、大栄、幡谷、磯部地区で、6名を訪問した。4名の方には対面した。訪問当日の朝、停電が解決していた。健康状態に問題はなかった。2名の方は、不在であったため、訪問通知書を置いた。
長澤 ゆかり	公衆衛生看護学	9/13(金)	10:30～17:00	福祉部介護保険課	・目的：民生委員より提出された避難行動要支援者名簿のうち電話による安否確認ができなかった高齢者の安否確認。 ・対象地区および件数：大栄地区5件、和田・赤荻地区4件。 ・方法：成田市職員と同行訪問。成田市の公用車を使用。 ・内容：民生委員宅へのあいさつ。 各高齢者宅に訪問して、健康状態の確認を実施。 口頭および観察にて確認8件、血圧測定を含む確認1件。結果、顕著な体調不良者はいないことを確認した。その他、市役所への相談勧奨(持病について)1件、受診勧奨(体調変化時)1件であった。 水およびα米の配布は無し。
吉岡 留美	成人看護学 (災害支援エキスパート)	9/14(土)	9:30～15:00	成田市福祉部	3チームに分かれ、総数24名の家庭を訪問した。災害に関連しないが入院されている方、電話番号が変更されたため連絡がとれなかった方があったことが分かった。不在者には不在連絡票を残した。
熊田 奈津紀	がん看護学・緩和ケア学	9/14(土)	9:30～15:00	成田市福祉部	福祉部職員1名と同行し、宝田・松崎地区7件に安否確認の訪問を行った。訪問では、生活状況(特に電気・水道の状況と食料の有無)と健康状態を口頭で確認した。7件中、4件では無事が確認ができ、3件は不在。不在者宅には、不在票を残した。
根本 友見	精神看護学	9/14(土)	9:30～15:00	成田市福祉部	福祉部の職員(社会福祉士)1名と同行し、郷部地区6件、土屋地区1件に安否確認の訪問を行った。初めに担当の民生委員さんにご挨拶に伺い、訪問する旨を報告、3名の民生委員のうち、1名はこの訪問に同行して下さった。最近では、市役所の者だと伝えても詐欺などと疑われることが多いとのこと、民生委員さんの同行と声かけによって対象者の方も安心して話をしてくださった。 7件中3件の方と対面、1件は不在、1件は特養に入所中、2件は台風以前から入院中とのこと不在であった(うち、1件は孫が在宅、1件は留守で近所の方が入院中らしいと教えて下さった)。 対面した3名のお宅はいずれも被害はほぼなく、停電も当初よりなかったとのこと。健康状態も問題なかった。訪問予定だった対象者以外にも近所の方数名とお話する機会があり、自宅の損傷への補償の有無、罹災証明書についてなどの質問に対して職員の方が対応して下さった。暴風への恐怖や自宅修繕の不安等を語られ傾聴した。
佐藤 真由美	大学院 医療福祉学研究科 看護学分野	9/11(水) ～12(木)	20:00～翌9:30	下総公民館 成田市福祉部	特養の利用者約50名が避難している下総公民館で、軽度の熱中症の輸液の管理と健康状態の観察を行った。熱中症の方は輸液で落ち着き、医師の指示のもと輸液を終了。特養の電源が復旧したため翌日午前全員が施設に戻れた。それまでの間、避難された方々の、いつ電気が復旧できるのか、いつ家に戻れるのか、経済面での不安等を手や肩のマッサージを行いながら、傾聴した。
		9/12(木)	9:30～17:30		成田市役所に戻り関係各部署の会議において夜間の状況を報告した。その後、成田キャンパスに出向き、成田市から要請のあった保健師訪問靴10セットとマットレス数十枚を、成田看護学部の教員5人と準備をし成田市役所に届けた。
		9/13(金)	10:30～17:00		10名の家庭訪問をした。福祉部職員1名と同行し、安否確認および健康状態、生活状況の確認を行った。1名はかなり荒れ果てている状態で、市に報告をし地域包括へ繋げることができた。大多数の方は親族の支援により、大きな問題はなかったが、高齢者単独では情報を入手できない、防災無線が聞こえない、HPなど見ることができない、断水地区では、一人では水をとりに行けない、などの状況があった。